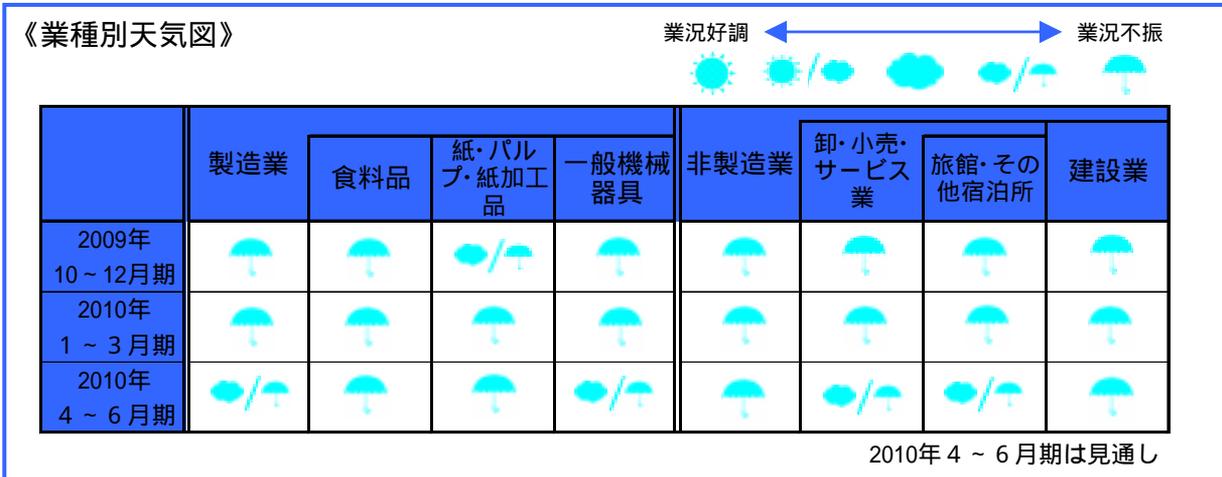
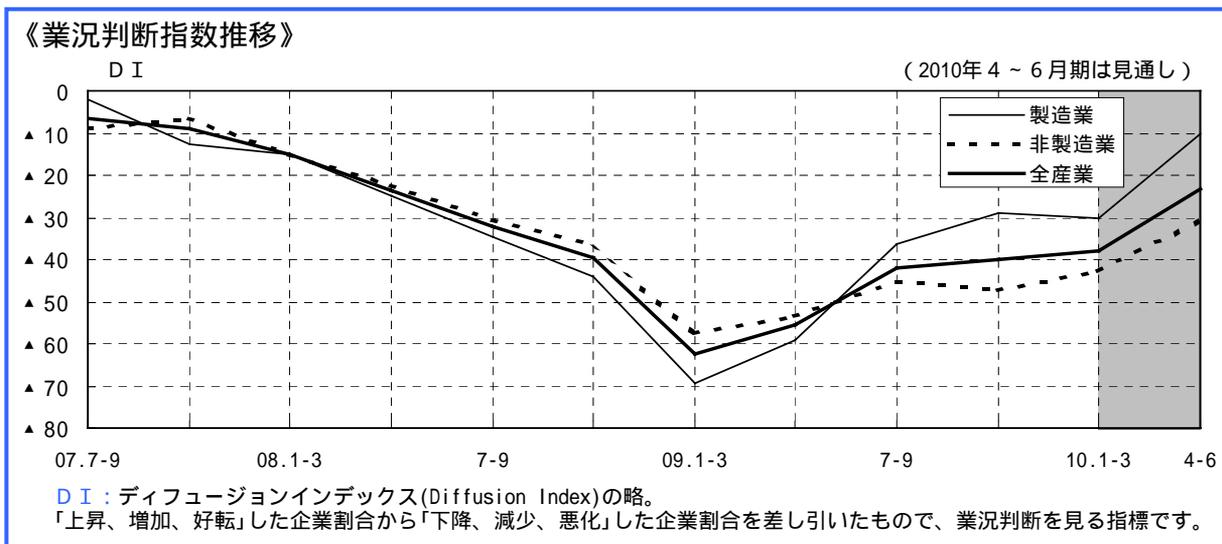


業況概要(自社) ～全産業DIは小幅上昇も、業況先行きに改善期待強まる～

静岡県東部地域における2010年1～3月期の業況判断DI(全産業)は▲38.1(前期▲40.2)と前期に引き続き小幅に上昇した。製造業では▲30.2(前期▲29.1)とわずかに低下したが、売上動向、利益動向DIは前期比大幅な上昇となっていることから、全体としては引続き改善基調にあるものと判断される。また非製造業のDIは▲42.7(同▲47.2)と前期比上昇に転じている。

2010年4～6月期の予測DI(全産業)は▲23.4、うち製造業では▲10.4、非製造業でも▲30.8と今期比上昇を見込んでおり、業況の先行きに対する改善の期待が強まっている。



《調査の概要》

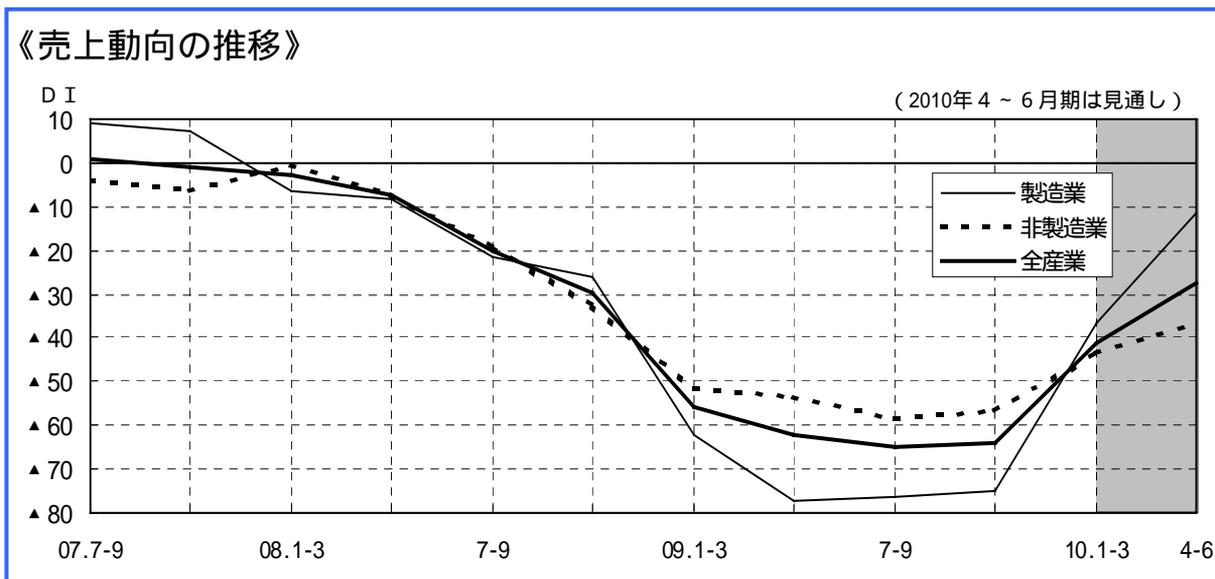
- 調査目的
静岡県東部地域(富士川以東)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握
- 調査対象企業
静岡県東部地域に立地する企業 1,005社
回答数291(回答率29.0%)
業種別企業数は4ページ下段図表を参照
- 調査方法
当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査
- 調査対象期間
実績:2010年1～3月期
見通し:2010年4～6月期
- 調査時点
2010年2～3月

売上動向

D I が前期比で大幅に上昇、下げ止まりへの期待感もさらに強まる

2010年1～3月期の全産業の売上動向D Iは▲41.0（前期▲63.9）と大幅な上昇に転じた。特に製造業では、パルプ・紙・紙加工品でD Iがやや低下したものの、金属製品やその他製造業でD Iが大幅に上昇、一般機械器具も上昇したため、全体D Iも▲36.8（同▲74.8）と大きく改善され、非製造業を上回る水準に回復した。一方、非製造業では旅館・その他宿泊所と建設業で前期比概ね横ばいで推移したが、その他小売・サービス業でD Iが上昇したため、全体D Iも▲43.5（同▲56.9）となり、同様に改善している。

2010年4～6月期（見通し）の予想D Iも全産業で▲27.5、製造業では▲11.3と引続き大幅な上昇を見込んでおり、下げ止まりへの期待感がさらに強まっている。

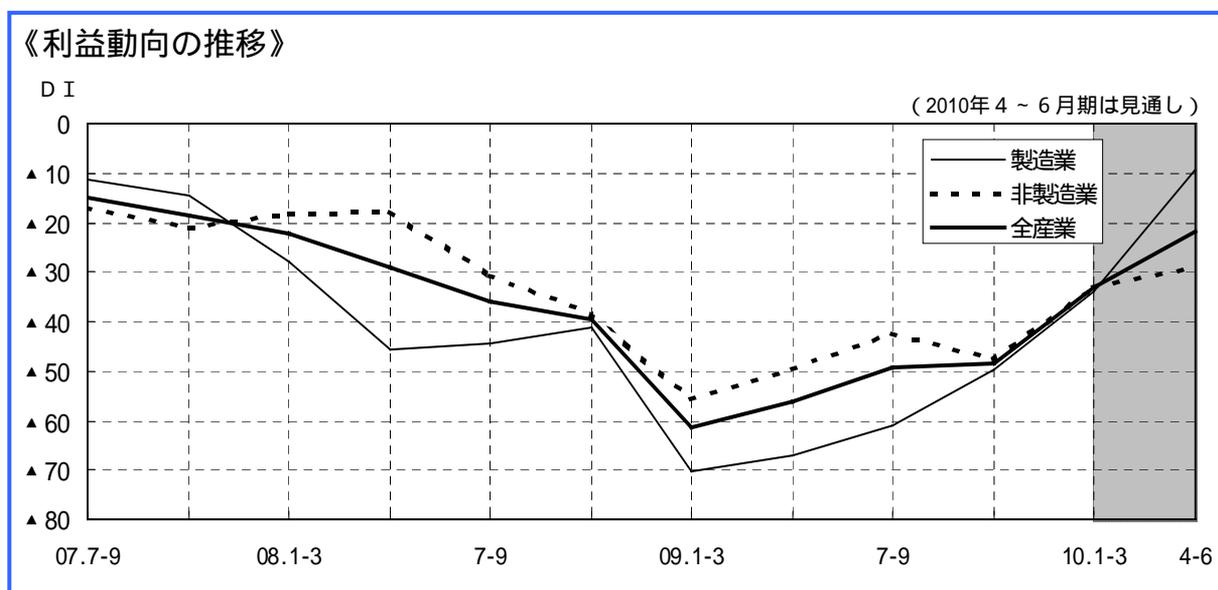


利益動向

D I は前期比で上昇、先行きへの期待感が強まる

2010年1～3月期の全産業の利益動向D Iは▲33.3（前期▲48.5）と前期比上昇した。製造業では食料品やパルプ・紙・紙加工品でD Iが低下したが、金属製品やその他製造業でD Iが大幅に改善、一般機械器具も小幅に上昇したため、全体D Iも▲34.0（同▲49.5）と4期連続の上昇となった。一方、非製造業では建設業をはじめ各業種でD Iが上昇し、全体でも▲33.0（同▲47.8）と上昇に転じている。

2010年4～6月期（見通し）の予想D Iは、全産業で▲22.0と引続き上昇、特に製造業では▲9.4と売上動向D Iと同様大幅な上昇を予想しており、全体として先行きへの期待感が強まっている。

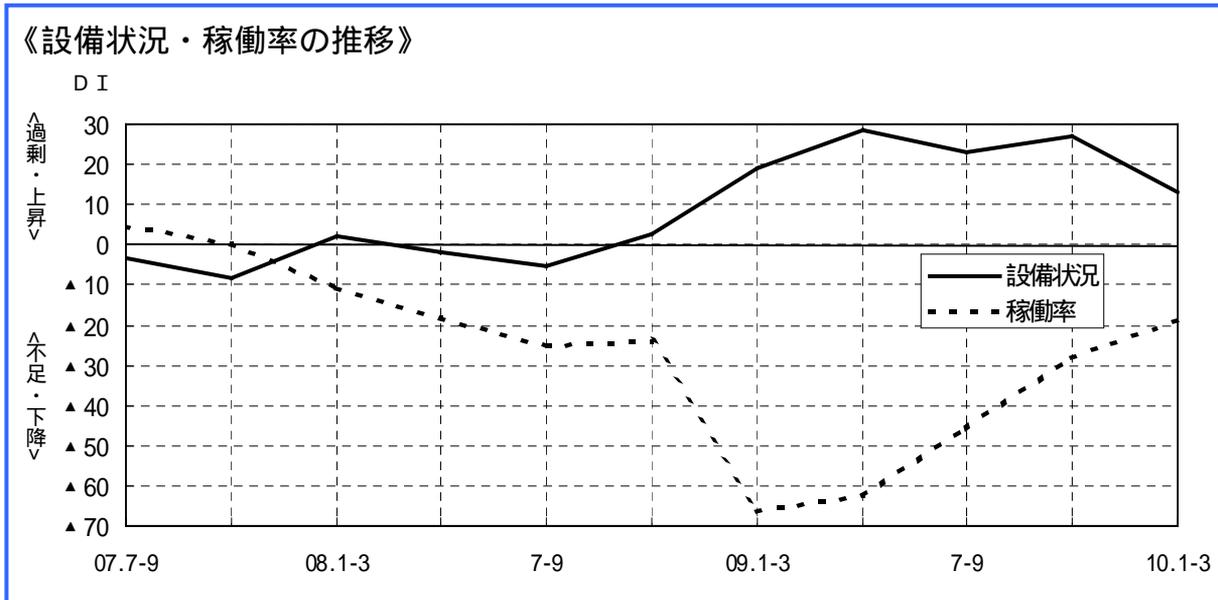


設備状況・稼働率
(製造業)

設備状況は「過剰」感が緩和、稼働率も「下降」感弱まる

2010年1～3月期の設備状況DIは13.2(前期27.2)と再び低下に転じ、「過剰」感は緩和される傾向にある。業種別では、パルプ・紙・紙加工品と一般機械器具でDIが小幅な上昇となったが、前期高い水準にあった金属製品やその他製造業でDIが大幅に低下し、「過剰」感は弱まっている。

一方、稼働率DIは▲18.9(同▲28.2)と4期連続で上昇し、「下降」感は引き続き弱まる傾向にある。パルプ・紙・紙加工品で大幅に低下したが、金属製品、一般機械器具ではDIが上昇している。

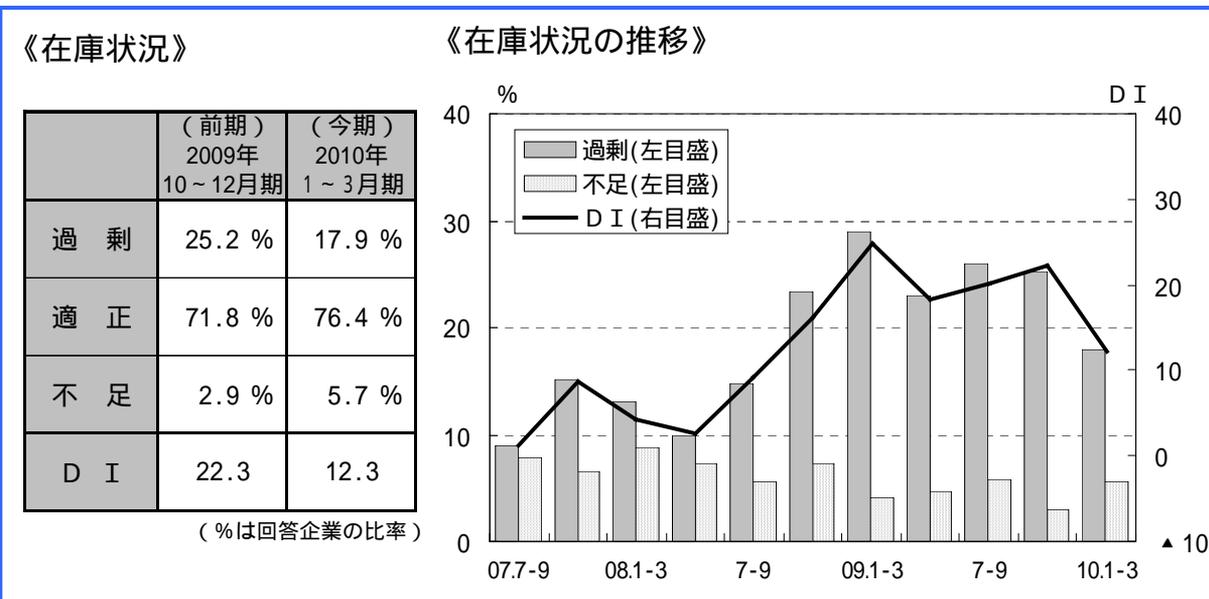


在庫状況
(製造業)

DIが下降に転じ、在庫過剰感は緩和

2010年1～3月期の在庫状況(製造業)DIは12.3(前期22.3)で、前期の上昇から再び下降に転じ、在庫過剰感は緩和されている。「過剰」とする企業の比率が17.9%(同25.2%)と低下した一方で、「適正」の比率は76.4%(同71.8%)、「不足」の比率も5.7%(同2.9%)といずれも上昇している。

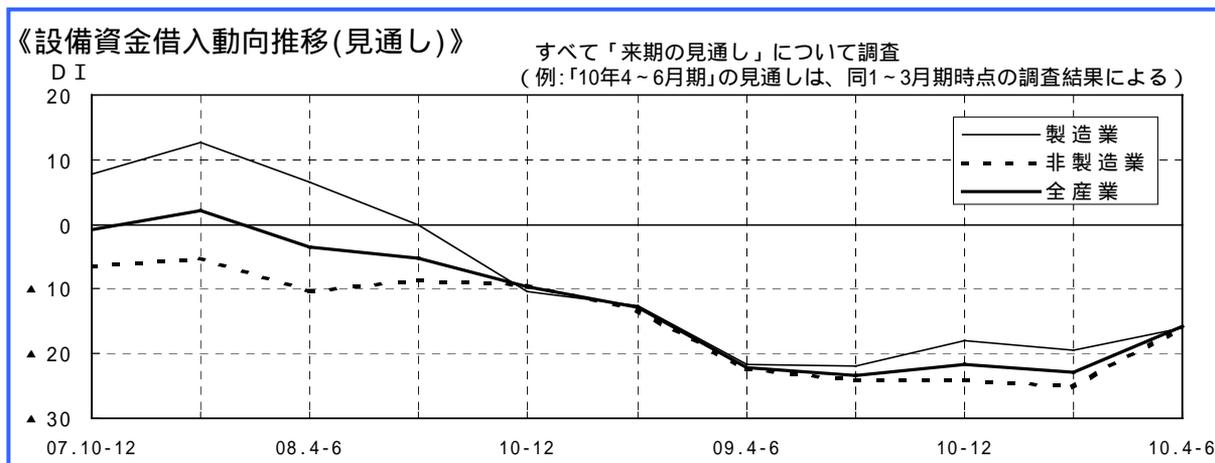
業種別では、全業種とも依然「過剰」の範囲内にあるものの、前期において相対的にDIが高かったパルプ・紙・紙加工品や金属製品で今期はDIが低下し、過剰感の緩和が進んだ。また他の業種でも程度の差はあるがいずれも前期比でDIが低下を示している。



設備資金借入
動向(来期)

DIは上昇に転じ、設備資金借入抑制の基調は緩和

2010年4～6月期(来期)の全産業の設備資金借入動向(見通し)DIは▲15.9(前期▲22.8)と上昇に転じ、借入抑制の基調が緩和される傾向にある。うち非製造業で▲15.8(前期▲25.0)と状況の改善が目立つ。また製造業でも▲16.0(同▲19.4)とDIは上昇し、製造業と非製造業がほぼ同水準となっている。



経営上の問題点

指摘の多い上位項目は前期と変わらず

指摘の多い上位項目は前期と変わらないが「受注・売上の停滞・減少」(73.5%、前期78.0%)は前期比減少、「過当競争・製品安」(50.5%、同48.9%)はやや増加している。この他では、「生産・販売能力の不足」が卸・小売・サービス業と建設業で、「原材料・仕入れ商品の値上がり」は製造業でそれぞれ指摘する企業が多く、比率、順位とも前期比上昇となっている。

《経営上の問題点(上位8項目)》

(社、%)

	09年7～9月期		09年10～12月期		10年1～3月期		順位 変動
	企業	比率	企業	比率	企業	比率	
1. 受注・売上の停滞・減少	228	79.7	206	78.0	214	73.5	
2. 過当競争・製品安	130	45.5	129	48.9	147	50.5	
3. 人材の育成	94	32.9	87	33.0	97	33.3	
4. 生産・販売能力の不足	68	23.8	50	18.9	73	25.1	
5. 従業員の高齢化	57	19.9	52	19.7	58	19.9	
6. 原材料・仕入れ商品の値上がり	41	14.3	36	13.6	42	14.4	
7. 人件費の増加	41	14.3	44	16.7	40	13.7	
8. その他経費の増加	36	12.6	25	9.5	36	12.4	

《業種別：回答企業数およびDI》

設備資金は来期の見通し、それ以外は今期実績

業種	企業数	売上動向	利益動向	設備状況	稼働率	在庫状況	設備資金
食料品	14	▲57.1	▲42.9	▲14.3	▲21.4	14.3	0.0
パルプ・紙・紙加工品	18	▲72.2	▲33.3	5.6	▲50.0	33.3	▲22.2
金属製品	18	▲5.6	▲38.9	11.1	▲5.6	11.1	▲33.3
一般機械器具	18	▲61.1	▲72.2	38.9	▲33.3	11.1	▲33.3
その他製造業	38	▲15.8	▲10.5	15.8	▲2.6	2.6	▲2.6
製造業計	106	▲36.8	▲34.0	13.2	▲18.9	12.3	▲16.0
旅館・その他宿泊所	20	▲70.0	▲60.0	-	-	-	▲15.8
その他小売・サービス業等	116	▲33.9	▲30.2	-	-	-	▲12.8
卸・小売・サービス業計	136	▲39.3	▲34.6	-	-	-	▲13.3
建設業計	49	▲55.1	▲28.6	-	-	-	▲22.4
非製造業計	185	▲43.5	▲33.0	-	-	-	▲15.8